

令和5年度

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業 効果検証資料

○デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業一覧

No.	交付金対象事業の名称	担当課	事業費（円）
①	あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～	産業・環境政策課	1,399,000
②	脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆再構築事業	企画財政課 国保健康課 産業・環境政策課 建設課 新市街地整備課 学校教育課 生涯学習応援課	93,780,988

まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する交付金について

【補助金の概要】

1 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

（1）目的

総合戦略の本格的な推進に向け、地域再生計画に基づき実施する、自主的・主体的で先導的な事業の実施に要する費用について、複数年度（3年から5年）にわたり国が支援

（2）交付要件

先駆的事业であり、自立性、官民協働、地域間連携などの要素を満たす事業を選定

（3）交付率

1 / 2

（4）交付決定額

51,813,000 円

（5）交付金充当経費

45,253,144 円

【交付金事業の効果の検証について】

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）制度要綱の第 11 の規定により、交付金の交付を受ける地方公共団体は、事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）を設定の上、その達成状況について、検証するよう努めるものとされています。

【一次評価の凡例】

地方創生に非常に効果的であった	全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合

令和5年度地方創生交付金事業 効果検証シート
(デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))

No.	交付金事業名	担当課
①	あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～【※広域連携事業】	産業・環境政策課

総合戦略における位置づけ	基本目標	「くみやま」魅力発信	
	施策	1 情報発信の強化 2 魅力の創造・再発見	
事業期間	令和3年4月～令和8年3月（令和3年度～令和7年度）		
事業の概要・目的	<p>京都府や南部関係市町村と連携し、お茶の京都の地域づくり中核組織となる「お茶の京都DMO」（観光関連のいわば地域商社）の事業推進を支援する。</p> <p>【※連携地方公共団体：京都府、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、本町】</p> <p>今までの観光地域づくりの成果を活かして、観光を入口とした産業振興、雇用創出なども含めた地域振興に繋げる。関係人口の創出拡大や新たな付加価値を生み出す消費・投資を促進し、地域の稼ぐ力をつけるため、事業を展開する。</p>		
事業の内容	<p>全体事業費：215,884,156円（お茶の京都DMO決算額） ○お茶の京都DMO負担金 1,399,000円（久御山町分）</p> <p><事業概要></p> <ul style="list-style-type: none"> *マーケティング調査 *着地型旅行商品等の開発・造成・販売促進 *特産品の開発・高付加価値化・ブランド化 *情報発信・プロモーション *観光を入口とした持続可能な地域づくり・人材育成 *地域づくり京ファンドの活用と地域づくり支援 *地域文化資源を活用した取組事業の推進 *宇治茶プレミアムブランド化推進 		
実績額 (決算額)	1,399,000円	うち、一般財源	886,000円

今後の課題	<p>「観光を入口とした持続可能な地域づくり」に資するため、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮して、成果と結果を意識したデータ収集と分析・マーケティング調査を実施すること、また、観光消費額、観光入込客の増加、特産品の売上増、地元雇用の拡大、さらに中長期滞在化から移住促進等を図り、地域づくりを進めていく。</p> <p>本町としても、単独の市町村だけでは取り組むことが難しい調査や専門的な視点から進める地域づくりについて、総合プロデューサー的機能を果たすお茶の京都DMOと更に連携を深めるなかで、交流人口の拡大に繋げ、久御山町の知名度向上、さらには産業を活用した地域の発展のために取り組んでいきたい。</p>
-------	---

<再掲>

本事業における重要業績評価指標 (KPI)				
指 標	当初値 (R元年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	達成度
①社会動態	(H30) 40人減	4人減	50人増	-8.0%
②観光人口	(H30) 58,832人	51,777人	70,000人	74.0%
③町の歴史・文化を学ぶ講座・イベント開催数	1回	2回	4回	50%
一次評価	地方創生に効果があった。			

<参考>

本事業における重要業績評価指標 (KPI)				
指 標	当初値 (R3年度)	目標値 (R5年度)	実績値 (R5年度)	達成度
①地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人の延べ人数	704人	924人	2,386人	258.2%
②地域での新規就職者数	1,053人	1,373人	835人	60.8%
③本事業により空き家等を活用して交流を行う拠点数	0箇所	7箇所	9箇所	128.6%
④地域の一人当たり所得向上額	3.6千円	183.6千円	165千円	89.9%
一次評価	地方創生に効果があった。			

令和5年度地方創生交付金事業 効果検証シート
(デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))

No.	交付金事業名	担当課
②	脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆再構築事業	企画財政課 国保健康課 産業・環境政策課 建設課 新市街地整備課 学校教育課 生涯学習応援課

総合戦略における位置づけ	基本目標	1 町内定住の促進 2 産業活力の発揮 5 住民や企業との協働と連携
	施策	1 1 住宅・宅地の供給 2 移動の利便性の向上 3 快適な環境の維持・創出 4 学びと憩いの定住環境づくり 2 1 戦略的なものづくり産業の振興 2 町内企業の育成支援 3 次代に継承する元気な農業の振興 5 1 住民参画につながる機会の充実 2 自治会活動の育成・支援 3 地域コミュニティ活動の推進
事業期間	令和5年4月～令和8年3月（令和5年度～令和7年度）	
事業の概要・目的	<p>脱炭素×ゆとりと賑わいのある地域の絆を再構築することをテーマとし、脱炭素で魅力を育みひとが集う未来のまちづくり、グリーンインフラで憩いつなぐ子育て環境づくり、地域コミュニティ維持と健康で安心な生活を実現する環境の確保、脱炭素と地域コミュニティ形成事業を掛け合わせた取組を横断的に連携して推進することで、相乗効果が発揮され、社会・経済・環境の好循環を実現し、あらゆる世代にとって「住みよい社会」をつくりあげることを目指すものである。</p>	
事業の内容	全体事業費 93,780,988 円 I 脱炭素で魅力を育みひとが集う未来のまちづくり 41,255,700 円 ■定住予定地の土地の鑑定評価 ■定住予定地の整備推進業務 ■推進コーディネーター委託 ■優良田園住宅可能性調査委託 ■就域ディレクター事業委託 ■産業大使 ■クロスピアくみやまコワーキングスペース試験運営等実験事業委託 ■ウォーキングロード整備	

	II グリーンインフラで憩いつなぐ子育て環境づくり 17,755,506円 ■特産品開発補助 ■久御山中央公園事業者選定支援業務委託	
	III 地域コミュニティ維持と健康で安心な生活を実現する環境の確保 6,215,000円 ■歩くまち「くみやま」事業運営委託 ■ウォーキングアプリ運営委託 ■ウォーキングアプリシステム運用	
	IV 脱炭素と地域コミュニティ形成事業を掛け合わせた取組 28,554,782円 ■自治会DSカルテの更新・分析 ■地域のきずな再構築支援事業補助金 ■クールドミノ戦略プロモーション事業 ■地域コミュニティ形成の場調査委託 ■屋内運動施設の空調設備等設計委託 ■まちづくりセンター整備設計アドバイザー業務 ■まちづくりセンター開館準備委託	
	実績額 (決算額)	93,780,988円
	うち、一般財源	49,040,844円
今後の課題	<p>目標値を大幅に超えて達成しているKPIもある反面、社会動態といった総合的なアウトカムがマイナスの達成度である。具体的には、子育て支援や健康寿命に資する取組は大いにできているが、社会動態は転出超過である。これは久御山町に転入・定住する誘因材料が少ないことに加え、空き家が無く住む場所も潤沢ではないことも一因。今後も新市街地整備、まちのにお構想、まちづくりセンターの整備等を進め、あらゆる世代に対して、魅力あるまちづくりを進める必要がある。</p> <p>また、官民連携の広場づくりにおける大規模なイベント実施やクロスピアくみやまコワーキングスペースの改修、また、地域が主体的に実施する事業に対して補助を行う「地域のきずな」再構築事業など、人が集う取組にさらに力を入れ、後の社会動態増につながる事業を展開していく。</p>	

本事業における重要業績評価指標 (KPI)				
指 標	当初値 (R4年度)	目標値 (R5年度)	実績値 (R5年度)	達成度
①社会動態	-166人	55人	-4人	-7.3%
②歩くまちウォーキングアプリ登録者の歩数(1人当たりの月平均歩数)	150,000歩	15,000歩	41,220歩	274.8%
③くみやま子育て応援センター「はぐくみ」による相談件数	97件	28件	294件	1,050%
④農業の販売会や地産地消イベントの年間参加者数	500人	100人	400人	400%
一次評価	地方創生に相当程度効果があった			